

氏名	井上和久	部署	理学療法学科	職名	准教授
研究分野	基礎・神経・運動器・生活環境支援（地域・予防）理学療法、教育・管理				
学位	学士（社会学）、博士（医学）				
学歴	1995年高知リハビリテーション学院理学療法学科・佛教大学社会学部社会福祉学科卒業、2013年東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科リハビリテーション医学（博士課程）修了				
経歴	1995年田無病院、1999年埼玉県立大学保健医療福祉学部助手、2006年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2014年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会（役職）	（公社）日本理学療法士協会、（公社）埼玉県理学療法士会、臨床歩行分析研究会、理学療法科学学会、日本義肢装具学会、日本地域理学療法学会（常任運営幹事）、日本予防理学療法学会（運営幹事）				

【2020年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	地域理学療法15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト	共著	あり	中山書店、全168頁	総編集：石川朗、責任編集：鈴木英樹、井上当当頁：1-10	2021.2
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	スクワットのコンピテンシーと筋シナジーの関係	共著	あり	理学療法－臨床・研究・教育、28巻、p23-28	渡邊健人、小栢進也、井上和久、原和彦	2021.3
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	BMIと体組成との相関について	共同	第7回日本予防理学療法学会学術大会、Web	○井上和久、丸岡弘、原和彦	2020.9	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間		
1	埼玉県立大学 奨励研究	BMIと体組成との相関について	研究代表者	2020.4～2021.3		
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	生活環境支援理学療法特論（博士前期課程）		6	主に授業は、Webによるプレゼンテーション講義を実施し、生活環境支援理学療法に関する文献抄読も実施した。		
2	理学療法症候障害論（博士後期課程）		2	主に授業は、Webによるプレゼンテーション講義「加齢による姿勢制御の変化と分析方法」を実施した。また、「義肢装具装着の運動学的評価法」についても参画した。		
3	義肢・装具学実習		2	作業療法学科の授業：義肢・装具学実習「体幹・下肢装具について」担当。主に授業は、Webによるプレゼンテーションで実施した。		
4	リハビリテーション看護		1	看護学科の授業：リハビリテーション看護「運動機能障害に対する基本的動作の回復・維持」担当。主に授業は、Webによるプレゼンテーションで実施し、理学療法の概要・車椅子・装具等の現物を元に講義を行い、トランスファーについても実演した。		
5	日常生活活動分析学	○	8	主に授業は、Webによるプレゼンテーション講義を実施し、体験学習（Webでの模擬車椅子乗車・介助）も実施した。		
6	義肢装具学		4	主に授業は装具について講義し、Webによるプレゼンテーションで実施した。		
7	看護学概論		1	健康開発学科の授業：看護学概論「障害に応じた装具の使用と移動能力の改善」担当。主に授業は、Webによるプレゼンテーションで実施し、車椅子・装具・杖等の現物を元に講義を行った。		

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	理学療法セミナー（OSCEⅡ）		3	学外の理学療法士をSP・評価者として実施。
2	リハビリテーション学演習：生活環境支援系理学療法学（博士前期課程）		9	生活環境支援系理学療法に関する演習（簡易のプラスチック短下肢装具の作製）を実施した。
3	理学療法特別演習		0.5	担当授業は「日常生活活動学」についてWebによるプレゼンテーションで実施し、また国家試験出題傾向の対策について講義した。
4	生活環境支援理学療法学演習	○	7	生活環境における理学療法の介入について志向する講義・演習（Web）を実施した。演習は、臨床教育実習で担当した学生自身の症例情報を元に様々な環境を想定・提案し、発表・討論を実施した。また、対面で簡易版プラスチック装具作製方法を教授した。
5	神経障害理学療法実践テュートリアル	○	8	脳血管障害・パーキンソン病についてテュートリアル演習形式（対面）で8グループに分かれ実施した。4名の教員の取りまとめ・進行を行い、2クール実施した（1クール2グループ担当）。
6	理学療法症候障害論演習（博士後期課程）		3	主に授業は、Webによる「運動器疾患動作分析測定演習②」を実施した。また、「義肢装具に関する研究論文の今日的課題」「義肢装具の運動学的・運動力学的研究法」についても参画した。
7	リハビリテーション学特別研究Ⅰ（博士前期課程）		35	主に修士論文等に関する研究指導を実施した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	臨床教育実習Ⅰ		2021.2.22～2021.3.20	学外での臨床教育学習を通じて、理学療法の評価の実践について確認・指導した。
2	臨床教育実習Ⅱ		2020.9.28～2020.10.31	学外での臨床教育学習を通じて、理学療法の評価・治療の統合化を促進した。学生に対しては、学習方法の指導や実習中の悩みや解決方法などの対応を行った。
3	臨床教育実習Ⅲ		2020.8.10～2020.9.19	学外での臨床教育学習を通じて、理学療法の評価・治療の統合化を促進した。学生に対しては、学習方法の指導や実習中の悩みや解決方法などの対応を行った。
4	臨床教育実習Ⅳ		2020.10.19～2020.11.7	学外での臨床教育学習を通じて、理学療法の評価・治療の統合化を促進した。学生に対しては、学習方法の指導や実習中の悩みや解決方法などの対応を行った。
5	IPW実習		24	1施設（学生4名、他校1名）の施設担当教員として、事前オリエンテーションおよび施設担当・報告会等を実施した（Web）。
6	日常生活指導実習	○	24	PCによるプレゼンテーション講義と6グループに分かれ疾患別の日常生活指導の実技を実施した（対面、一部講義はWeb）。また、介護福祉機器展示場に同行し、介護福祉機器の説明を実施した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2020.4～2020.12	主指導 4名	副指導 0名
2	修士論文	2020.4～2021.3	主指導（指導教員） 1名	副指導（指導補助教員） 1名
3	博士論文		主指導（指導教員） 0名	副指導（指導補助教員） 0名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	担当ゼミの打ち合わせ	2020.4～2021.3	1年生2名、2年生2名、3年生3名、4年生4名、計11名の担当ゼミ生について打ち合わせを行った（年数回）。また、3年生については卒業研究に向けて打ち合わせ・研究指導等を実施した（23コマ）。	
2	水戸メディカルカレッジ：装具学・義肢学講義	2020.4～2021.1	装具学・義肢学の講義（Web、一部実技は対面）について実施した（30コマ）。	

4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師			
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ 開催年月
1	令和2年度埼玉県立大学理学療法学科臨床教育実習受入施設対象講習会(Web)	埼玉県立大学	臨床実習における指導方法(教育・管理)ー学生・CV・SVとの関わり方ー 2020.8
2	2020年度埼玉県立大学IPE総合過程(Web)	埼玉県立大学	IPWの実践報告 2020.9~2020.10
3	埼玉県立大学 一般公開講座(Web)	埼玉県立大学	健康のために取り組む生活習慣病の対策 2020.12
4	2020年度埼玉県立大学多職種連携基礎研修(Web)	埼玉県立大学	専門職連携実践が求められる背景とチームワークの考え方 2021.2
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等			
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	日本理学療法士学会	日本地域理学療法学会：常任運営幹事	2016.4~2021.6
2	日本理学療法士学会	日本予防理学療法学会：運営幹事	2016.4~2021.6
3	日本理学療法士学会	日本地域・支援工学・教育合同理学療法学会学術大会2020：合同大会長	2018.4~2021.3
4	日本理学療法士学会	第7回日本地域理学療法学会学術大会：大会長	2018.4~2021.3
5	埼玉県総合リハビリテーションセンター	講師(入院患者及び外来患者に対する理学療法訓練の指導・助言等)	2020.4~2021.3
6	日本理学療法士学会	第7回日本予防理学療法学会学術大会：演題査読	2020.5
7	(公社)日本理学療法士協会	研究安全・学術倫理委員会 委員	2019.6~現在
8	(公社)日本理学療法士協会	研究安全・学術倫理委員会倫理審査部会 審査員	2019.7~現在
9	(公社)日本理学療法士協会	代議員	2020.6~現在
10	日本理学療法士学会	第7回日本地域理学療法学会学術大会：演題査読	2020.8
11	日本理学療法士学会	第7回日本予防理学療法学会学術大会 座長	2020.9
12	(公社)埼玉県理学療法士会	第29回埼玉県理学療法学会：演題査読	2020.10
13	日本理学療法士学会	日本地域・支援工学・教育合同理学療法学会学術大会2020 公開講座司会	2020.11
14	日本理学療法士学会	第7回日本地域理学療法学会学術大会 特別講演司	2020.11
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容 期間
1	該当なし		
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	高等教育開発センター所員	2020.4~2021.3
2	学科等における委員会等	ヒューマンケア実習室担当者	2020.4~2021.3
3	全学的委員会及びセンター業務等	専門職連携を学ぶ講座実施部会	2020.4~2021.3
4	学科等における委員会等	学科会議	2020.4~2021.3
5	学科等における委員会等	学科業務会議	2020.4~2021.3
6	学科等における委員会等	実習施設調整・実習のあり方に関する検討：責任者	2020.4~2021.3
7	全学的委員会及びセンター業務等	入試(推薦・共通テスト)	2020.4~2021.3
8	大学広報活動	高校出張講座(Web)：埼玉県立川越南高校	2020.11
9	学科等における委員会等	情報図書委員会 委員	2020.4~2021.3
10	全学的委員会及びセンター業務等	高等教育開発センター 教育企画部門	2020.4~2021.3
11	大学広報活動	専門職公開講座「日本地域・支援工学・教育合同理学療法学会学術大会2020 公開講座」司会	2020.4~2020.11
12	学科等における委員会等	臨床実習指導者講習会 準備・運営	2020.4~2021.3
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			